



表紙写真：大字西高橋 阿久津幸男さん撮影 <五行川への来訪者>

No. 144 

2013年2月11日発行  
議会だより

はが

12月議会定例会

12月定例会概要(条例制定・改正、補正予算ほか)……………	2～3
常任委員会事務調査報告……………	4
芳賀北部要望活動・郡市町研修会……………	5
一般質問……………	6～13
議員会活動報告・議会改革検討委員会レポートほか……………	14
聲<こえ>私のいいたいこと……………	15
議会日誌・表紙写真募集・編集室……………	16



道の駅はが物産館オープン

## 一般会計補正予算など14議案を可決 12月定例会の概要

平成24年第4回町議会定例会は、12月4日から7日までの4日間の会期で開かれました。

初日の4日は、町長から提出された議案の提案理由の説明などを行い、2議案について採決後、総務・教育民生常任委員会の事務調査報告が行われました。

一般質問は4日に2名、6日に4名、7日に2名の議員が登壇し、執行部の方針などをたずねました。

最終日には、12議案への質疑を行い、採決の結果、全議案を原案のとおり可決し、定例会を閉会しました。

### 〈承認〉

□専決処分の承認を求めることについて

〔平成24年度芳賀町一般会計補正予算（第3号）〕

□衆議院議員総選挙の執行に伴う選挙経費です。

（質疑・討論なし、原案承認）

### 〈条例改正〉

□芳賀町税条例の一部改正について

□芳賀町行政手続条例の適用除外としている「減免申請、証明書の交付申請などを拒否す

□芳賀町国民健康保険税条例の一部改正について

□国民健康保険税の基礎課税額の限度額を50万円から51万円に、後期高齢者支援金課税額の限度額を13万円から14万円に、介護納付金課税額の限度額を10万円から12万円に引き上げ、国保税総額の賦課限度額を73万円から77万円にするものです。また、所得割の税率を引き上げ、均等割、平等割の税額を引き上げ、医療費分の資産割については32%から25%に減額し、後期高齢者支援金分に資産割は廃止するものです。

□増削さつき議員

小林 一男 議員

（討論なし・原案可決）

□芳賀町職員の給与に関する条例の一部改正について

□平成18年度から国の給与構造改革が行われ、町職員給料表が8級制から7級制に圧縮されたことにより、新しい級に格付けされた職員のうち、給料支給額が改定前より低くなる職員については、差額を現級保障として支給していたが、平成25年度からこの特例を廃止するため改正するものです。

（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町都市計画税条例の一部改正について

□近隣自治体の都市計画税の課税状況や現在の社会経済状況に鑑み、平成25年度から平成27年度までの3年間、引き続き都市計画税の税率を「100分の0.2」とするものです。

□石川 保 議員

（討論なし、原案可決）

□証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について

□内容 平成24年9月に改正地方自治法が施行され、議事本会議において、公聴会の開催、参考人の招致をすることができるとなったため、その関係者の実費弁償を支給することができるよう改正するものです。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町工業団地管理センター設置及び管理に関する条例の一部改正について

□内容 テナント棟のレストラン施設をレストラン業務以外に利用する場合の利用料金の適用を規定するため、改正するものです。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町ふるさと交流体験センター設置及び管理に関する条例の一部改正について

□内容 地域物産センター内に新たに物産館を設置し、指定管理者に管理を代行させるため改正するものです。また、電気自動車急速充電器施設を設置することから、利用料金の規定が必要となるため、条例別表の改正をし、料金については、当分の間、無料とするものです。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町職員の給与に関する条例の一部改正について

□内容 平成24年8月の人事院勧告に伴い、55歳を超える6級以上の職員については、標準の勤務成績では昇給させないこととするものです。また、部制導入に伴ない、級別職務分類表を改めるものです。

(質疑・討論なし、原案可決)

## 条例制定

□芳賀町部課設置条例の制定について

□内容 個性豊かで活力に満ちた地方分権化型社会の実現に対応しうる行政組織体制の改革として、命令系統の迅速性と縦割り行政の是正のため、現在の課体制を部課体制に改めるものです。

□質疑 見目 匡 議員

(討論なし、原案可決)

## 財産処分

□財産の処分について

□内容 芳賀工業団地内の町有地17,679.36平方メートルを優良企業である日本梱包運輸倉庫株式会社に分譲するものです。

(質疑・討論なし、原案可決)

## 選任同意

□人権擁護委員

□内容 人権擁護委員の横田雅子氏が平成25年3月31日付けをもって任期満了となるため、後任として小宮隆子氏(祖母井)を最適任者として法務大臣に推薦することに同意いたしました。



小宮隆子氏

## 議員発議

□芳賀町議会議規則の一部改正について

□内容 議員自らの発議案件で、改正地方自治法の施行に伴い、芳賀町議会議規則を一部改正するもので、引用条項の修正と本会議における公聴会、参考人制度を規定するものです。

(質疑・討論なし、原案可決)

## 補正予算

□平成24年度芳賀町一般会計

□内容 総額に、3億4,974万1千円を追加し、予算総額を71億792万円とするものです。主な歳出は、JRバス関東宇都宮支店の芳賀工業団地への移転に伴う周辺整備工事費と設計費、財政調整基金への積立金、災害時要援護者の地図作成委託料、みどりが丘の宅地地盤災害復旧支援事業補助金、マスコットキャラクターの商標登録手数料、道の駅が物産館改修付帯工事と備品購入費、ホイルローター購入費などです。

□質疑 増淵 さつき 議員 災害時要援護者の地図作成業務委託料とあるが、要援護者の地図作成に当たって情報はどこから得るのか。また、その活用方法は健康福祉課長 庁舎内に地図情報システムが整っています。そのシステムに、毎年民生委員さんのご協力を得て調査している要援護高齢者リストを地図上へ入力します。要援護高齢者の方を抽出できる整備が整いましたら、個人情報公開することに依拠している方については、消防や警察等関係機関や自治会へ、



マスコットキャラクター「はがまるくん」誕生

災害時に支援をしていただく資料として紙ベースで提供していく計画です。

□質疑 小林 一男 議員 道路維持管理費備品購入費でホイルローターを購入するが、耐用年数は15年くらいあるのではないかと考えるがなぜ補正で要求するのか。

建設課長 現在のホイルローターは30年前に購入したものであり、耐用年数は過ぎており、11月頃故障した際には部品がなかなか見つからず中古の部品で修理しました。その後ラジエーターも故障したので、住民からの要望に迅速に対応するために、リースより新規購入した方が割安であると考え、今回補正しました。

□質疑 見目 匡 議員 ふるさと交流体験センター工事請負費

は、テナントに迷惑をかけないように分割にし、温室を物産館に改修する工事費を9月補正し、今度はフラワーショップの改修

工事費を補正するが、一般論では一括の方が安くできると思うが検討したのか。  
**商工観光課長** 一括で実施することが適当であると考えましたが、実際に営業されているテナントの要望を尊重し、何度も協議をした結果、リスクを最小限にするため、最終的にこういう形になりました。

## 臨時議会

平成25年第1回議会臨時会  
(1月8日招集)

□財産の取得について

(ホイロローダー購入)

**内容** 地方自治法の規定により、財産の取得について議決を求めらるるものです。

(質疑 見目匡議員)

討論なし・原案可決)



購入するホイロローダー

# 常任委員会事務調査報告

## テーマ：自治消防のあり方について

＜総務常任委員会＞ 増渕 さつき 委員長

昨年3月11日に発生した東日本大震災は芳賀町にも多大な被害を与えたが、災害直後からの消防団の活動に多くの町民が感謝の思いを熱くしたことと思う。

消防団は地域の安全・安心を守るためになくてはならない存在だが、消防団員の確保が年々難しくなっている。

団員の確保に当たっては、地域に任せるばかりでなく、町として先進地事例のような機能別消防団員や消防団協力事業所表示制度の導入を検討すべきである。

また、災害対策に女性の参加を求める声もある中で、女性消防団員の確保も併せて検討すべきと考える。



飯豊町役場(山形県)での調査

…………… 調査の意見と提言 ……………

## テーマ：少子化対策の取り組みについて

＜教育民生常任委員会＞ 石川 保 委員長

少子化対策については、定住対策、結婚対策、子育て支援、若者雇用対策などが考えられるが、特に定住対策上芳賀町においては、昼夜間人口比率が180%と高いことが注目点と思われる。振興計画に定住促進の効果的施策を位置付け、都市計画マスタープランなどの見直しも併せ検討すべきであると思われる。人口減少対策には、芳賀町に住んでもらえる施策が必要であり、宇都宮市野高谷地区など隣接する市街化区域、商業地を活用し、西部台地調整区域を中心として都市計画法等をクリアしつつ宅地を開発し、これらの利便性をも活かすことにより、人口減少の歯止めが期待できるのではないと思われる。

また、若者に対する結婚対策は、パソコンによる閲覧システムを導入するなど工夫を凝らし、民間やNP0などを活用した魅力ある婚活パーティーなどに積極的に取り組み、関係機関との連携を強化することを期待したい。

町の人口減少に歯止めをかける少子化対策は、芳賀町振興計画の体系にも確たる記述がなく、明るい芳賀町の未来が見えにくい。少子化対策としての定住、結婚、子育て、若者雇用関係対策事業の窓口の一元化を含め、効果的な具体策の早急な検討と執行が必要と考える。



高崎市社会福祉協議会(群馬県)での調査

# 芳賀北部広域行政推進協議会が要望書を提出

## LRT導入による公共交通網整備に関する要望書

県都宇都宮の東部に位置する芳賀北部地域（益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）は、産業集積や文化遺産、自然環境、観光資源に恵まれ、それぞれの行政においてもこれらを活用する取り組みがなされております。

しかしながら、公共交通網の脆弱さによりその経済活動に支障をきたし、地域の交通弱者と言われる方々の社会生活にも大きな壁となって立ちはだかっております。

益子町、市貝町、茂木町を接続する真岡線は、県都宇都宮市に接続することなく、県央地域との交流が断たれ、益子焼きの里や芝ざくら公園、ツインリンクもてぎなどへの県央地域からの交通手段は、交通事故や地球温暖化が懸念される車頼みとなっています。また、宇都宮テクノポリスの中核を担う芳賀工業団地、芳賀高根沢工業団地の大規模工業団地では、就業者の通勤ラッシュにより慢性的な交通渋滞が発生し、住民生活や企業活動の大きな妨げとなっております。

隣接する宇都宮市において推進されている次世代型路面電車（LRT）は、県都宇都宮市の新しい公共交通ネットワークや町づくりで終わるものではなく、JR宇都宮駅や東部宇都宮駅（県央部）と茨城県境までを地域とする芳賀北部を結ぶ、大動脈として大きな役割を果たしてくれるものと確信しております。

栃木県におかれましては、宇都宮市をはじめとする関係行政、機関と協議の上、早急に推進のための予算を計上し、次世代型路面電車（LRT）の導入整備を図られるよう要望いたします。



芳賀北部広域行政推進協議会（益子町、茂木町、市貝町、芳賀町の各正副議長並びに各常任委員長で構成）では、主要地方道宇都宮茂木線、主要地方道宇都宮笠間線、主要地方道真岡那須烏山線、一般県道芳賀茂木線、一般県道塙上根線、一般県道黒田市塙真岡線の6路線について、早期着工と完成に向けての予算を確保していただくための要望書と、LRT導入による公共交通網整備に関する要望書を栃木県議会議員、県土整備部長、真岡土木事務所長等へ11月20日に提出しました。



平成24年11月20日の要望行動（栃木県議会）

## 芳賀郡市町議会議員自治研修会に参加

芳賀郡市町議会議員自治研修会が、11月2日に茂木町の茂木町民センターで開催されました。

この研修会は、芳賀郡市町議会議長会が事業計画に基づき毎年行っているもので、町議会議員全員が参加しました。

今回は、白鷗大学教授、東北福祉大学特任教授である福岡政行氏が「日本の課題～政治・外交・そして教育～」と題し講演され、大変有意義な研修会となりました。



巧みな話術で聴衆を引き寄せる福岡政行氏（茂木町民センター）

# 芳賀地区統計書から見た行政体系について



市川 宗司 議員

## 町 予算規模や事業内容による違い

**問** 芳賀地区統計書から見た芳賀町の職員数は、芳賀郡内の平均が128人の住民に一人に対して、95・1人に一人となっていますが、本町の職員数は適切な数であるのか伺います。

**予算規模や事業内容による違い**

**答** 町長 芳賀地区の統計書によりますと、当町は芳賀地区の平均と比較して職員一人当たりの住民数が少なく、結果職員数は多いこととなります。

しかしながら、市町村の職員数については、単に人口だけでなく、予算規模や事業内容による違いがあります。例えば、郡内益子町との比較では平成22年度決算額で4億4千万当町が多く、事業内容では、町立保育園の有無や学校給食の調理員の違い、総合情報館や区画整理、芳賀チャンネルに係わる事業等の差異もあると思います。これらを差し引くと芳賀町の職員一人当たりの住民数は118・7人となります。事務事業の評価を今後とも適正に実行し、人員管理を行っていきます。

**問** 職員人件費について、益子町の人口が約2万3千人、芳賀町は約1万6千人、当然職員数も益子町が多いと思いますが、職員人件費については、益子町が12億9千万円余り、芳賀町では15億4千万円、ラスパイルス指数を含め検討の余地が充分あると考えるが、町長の考えを伺います。

**答** 町長 ご指摘の数値は職員数だけでなく議員、各種委員等を含めた総人件費です。正確な比較はできませんが、先ほど説明した町立保育園や給食調理員の人件費だけでも2億9千万あります。これらを差し引くと、益子町より少ない人件費になります。

しかし国家公務員を100とするラスパイルス指数は益子町98・3に対し、101・3となりました。このため平成23年度は定期昇給中止と給料1%カット、本年はさらに1%カット措置をしているところです。次年度以降は、1職1給制の導入により、ラスパイルス指数100を基準とした給与支給水準の適正化を図っていききたいと考えています。



芳賀地区統計書

りの大人が積極的に係わっていただく必要があるため、大人の責任と自覚を促す目的で制定したとあります。確かに大人目線での憲章という印象が残りました。芳賀町におきましても、子ども憲章制定の効果などを既に制定している他の県や市町の例を調査、研究し、前向きに検討していききたいと考えています。

**芳賀町子ども憲章制定について**

**問** 県には「とちぎの子ども育成憲章」がありますが、大人目線から見た憲章になっていると思います。芳賀町では大人目線ではなく、子ども達が考え、子ども達の目線で見た教育や社会をテーマにした子ども憲章を策定してはいかがでしょうか。考えを伺います。

**答** 教育長 県においては、平成22年2月に「とちぎの子ども育成憲章」が策定されています。内容を見ますと、青少年の健全な育成、成長を親や周

**調査研究し 前向きに検討したい**

**答** 教育長 県においては、

平成22年2月に「とちぎの子ども育成憲章」が策定されています。内容を見ますと、青少年の健全な育成、成長を親や周



# 土地改良事業について

## 町 関係地権者の仮同意率100%



大根田 和子 議員

**問**

芳賀町の面積の半分は農地であり、その大半は水田です。そのため、昔から土地利用型の水田農業が盛んでした。そのような農業形態を維持するために、早くから土地改良事業による圃場整備が行われてきました。昭和33年度に芳賀町北部土地改良区が設立され、次々に土地改良区が設立され、圃場整備事業が推進されました。

現在、芳賀町の水田の圃場整備は概ね完了しましたが、平成25年度から打越新田地区が新規に計画されています。この打越新田地区の事業実施に際しての経過と事業計画、事業主体と町の補助、姿勢と係わりについて伺います。

### 事業計画の概要固まり

### 地元説明会を開催予定

**答**

町長 当地区の地形は、細長く土地条件として良くない地形で、受益面積に対して多くの費用を要します。特に幹線排水路の整備費が大きなウエイトを占めており、推進事業の問題となりました。先に整備した上流の宇都宮市氷室地区の圃場整備事業では、補助率を上げ

**問**

て地元負担金を軽減し、真岡市では、幹線排水路については全額市で負担致しました。このような状況の下では、同じように幹線排水路の整備費用については、町で地元負担金を負担していく必要があると考えています。また、幹線道路については、現道幅員を超えて整備する場合は、北部土地改良区の再整備と同じように、超えた部分を町で用地買収し整備していきたいと考えています。事業主体は栃木県となり、事業名は「担い手育成基盤整備事業」で補助率は国50%、県30%、町12・5%、地元負担金7.5%の予定です。幹線排水路はすべて全額町で負担したいと考えています。関係地権者の仮同意率は100%であり、現在の進捗状況は、事業計画の概要が固まりましたので、地元説明会を開催する予定です。

**問**

過去に3度も流されてしまったということで、地元住民はがっかりしているのです。今回は大丈夫か伺います。

**答**

町長 仮同意率が100%でありますので、今度は工費が一人いくらか出てくるので、それで同意がどれくらいかということだと思います。

**答**

農政課長 今まで採択にならなかつた経緯は、県営でなく受益面積の関係で団体営ということで地元負担金が団体の場合だと15%、県営だと7.5%になります。倍の開きがあり、なかなか地元のご理解を得られなかつたということがあります。事業費は、今回10アール当たり約22万円掛かります。地元負担金は7.5%で10アール当たり16万7,000円の状況です。幹線水路については、町で負担していくと地元負担金は約11万円になります。

**問**

打越新田地区は湿地地帯なので、水田の乾田化のため暗渠排水事業はどうなっているのか伺います。

**答**

農政課長 現在の計画では、排水溝についても予算計上されています。

**問**

排水事業は平等に、乾田化して欲しいがその点について伺います。

**答**

町長 県営事業で行つので、町もどこまで県に要望できるかわかりませんが、地元の人たちがいろいろと計画をつくるときに、そういう要望をするものであると思つています。その時にぜひとも要望していただけばと思つています。



圃場整備が計画される打越新田地区

# 平成25年度の行政運営について



## 見目 匡 議員

### 町 戦略性と合理性を備えた予算編成を行う

**問** 芳賀町も町税の減収により、平成23年度から10年ぶりに普通交付税の交付団体となりました。

このような中、24年度の行政運営を進めています。24年度の行政運営を検証しながら、25年度の予算編成にあたると思われませんが、骨幹を成す行政運営方針、重点施策をどのように考えているか伺います。

「みんなで創るやすらぎと豊かさに満ちたまち芳賀」を実現するために戦略性の予算編成

**答** 町長 事業の成果を重視する予算編成を行います。

必要性や効率性を再点検し、改革、改善に取り組む事業に、財源を重点的に配分し、行政評価と連動した予算編成を行います。行政がしてあげる、町民がしてもらうという関係から脱却し、行政が町民や団体などと協働・連携した町民参加型の町政運営を行います。

平成25年度の重点施策は、①学校教育の充実、②健康づくりの推進、③計画的なまちづくりの推進を選定しました。

**問** 平成24年度の重点施策の内、子育て支援の充実と防災、消防機能の向上を外したが特に防災・消防機能の向上は重要だと思います。東日本大震災により、町民は安心安全を求めています。茨城県沖で大震災が発生すれば、東海村の原発事故が想定されます。そのためにも重点施策に入れるべきだと思います。

県民生活部の世帯調査によると、3年連続で高齢者の福祉対策を一番に希望しています。漠然的な健康づくりの推進より、より明確になると思いますが考えを伺います。

**答** 町長 予算編成の中で重要と考えられるものは施策に追加していきます。特に、東海村の原発事故が発生すれば、芳賀町も50km圏内に入ります。

県の指導を受けながら、地域防災計画の見直しを行います。

健康づくりの推進については、今後内容を検討し、高齢者の福祉対策には力を入れていきます。

在宅医療が叫ばれていますが、診療報酬の関係で医師の協力が得られないのが現状です。在宅医療に移行するには、国で診療報酬を改定することだと考えま

す。県知事に対する要望事項で提案していきます。



予算に関する説明書と第5次芳賀町振興計画書

### 教育長の 教育理念を伺う

**問** 私たち日本人が豊かな生活を楽しめるのは、教育のおかげだと思います。日本と

いう国家の中で、私たちはいろいろなことを学び取っています。そして、それぞれの考えや感性を身に付け、社会人として地域貢献をしています。

国が教育方針を決め、それを行うのは町であります。芳賀町の教育長に就任をして、どのような教育理念のもと、職務遂行していくのか伺います。

活力に満ちた個性豊かで創造性に富む人を育てる

**答** 教育長 社会の変化に適応しつつ、活力に満ちた個性豊かで創造性に富む人づくりを進めていく上で、教育、文化、スポーツの果たす役割は極めて大きいものがあります。特に教育には、基礎的・基本的な力が身に付いた心豊かでたくましい人間を育てるといふ普遍的な面と、社会の変化に柔軟かつ適切に対応していくという両面があることを踏まえ、積極的に取り組んでいく必要があります。

学校、家庭、地域社会が連携・補完し合いながら、子どもたち一人ひとりの個性を尊重すると同時に、社会の一員としての自覚を育む教育を推進していくことが重要です。

そのため、町の基本方針である第5次芳賀町振興計画に基づき町教育委員会が掲げる基本方針のもと、積極的に教育行政を推進していきます。町の将来と明日の社会を力強く担う人材育成という重要使命を認識しながら教育長職に当たります。



# 芳賀町敬老祝金条例について

## 町 誕生祝金への変更は要望などにより検討



北條 勲 議員

**問** 芳賀町敬老祝金支給条例では、毎年9月1日現在を基準日として祝金を支給していますが、基準日を誕生日に変更し、翌月に祝金を支給する考えがあるか伺います。

市貝町では条例ではなく規程で定めています。町でも条例を廃止して規程等に改正し、即時対応する考えはあるか伺います。

**誕生祝金に変更することを検討**

**答** 町長 全国的に9月は敬老月間としているので、9月1日を基準日にし9月に支給しています。しかし、基準や支給については、高齢者や家族からのご意見、ご要望等を踏まえ今後検討します。

条例廃止については、基準日や誕生祝金に変更すること併せて検討します。

**問** 高齢の方に少しでも早く支給されるよう、再度検討をいただけないか伺います。

**答** 町長 日常生活が自分でできる方と施設や病院等で医療費のかかる方もいらっしゃ

るので、内部でも、高齢者等のご意見も聞いて、これから検討していきます。

**国道の案内標識の名称変更について**

**問** 議会だよりの「私のいいたいこと」の欄に芳賀町はどこですか、芳賀町という道路標識がないとありました。現在の案内標識は「祖母井」となっていますが、読めませんので「芳賀町」に名称変更することに町長の考えを伺います。

**目的地的変更の是非を県と協議します**

**答** 町長 案内標識は、国土交通省道路標識適正化委員会が審議され、地名が決まり設置されます。町としては、速やかに町に来るための適正な地名は何かを検討する必要があると思っております。今後、目的地的変更の是非について県と協議したいと考えています。



道路案内標識

**体力向上について**

**問** 教育長就任のあいさつの中で子どもたちの体力向上を目指すとなりましたが、具体的にどのようなことなのか伺います。

**委員会設置を検討します**

**答** 教育長 本町の児童生徒にも体力低下が表れております。原因として、自然の中で遊ぶ機会の減少、クラブ活動や運動部活動離れなどが関連していると思われま。その原因を検証して、「仮称」体力向上推進事業実行委員会の設置を検討中です。学校等でも新たな取り組みについて研究したいと考えています。

**生涯スポーツの推進について**

**問** 昨年、チャレンジデーの開催について検討しましたが、検討の結果について伺います。

**来年度、開催します**

**答** 教育長 町民の体力向上やスポーツを楽しむ機会の提供の観点から、来年度チャレンジデーを開催します。その際には議員の皆様はじめ町民各位の参加をお願いしたいと思います。



# 記念式典に「男女共同参画宣言都市」奨励事業を！



増渕 さつき 議員

町 60周年記念事業に盛り込んで実施予定

**問**

昭和29年3月31日、祖母井町・南高根沢村・水橋村の一町二村が合併して「芳賀町」が誕生しました。来年度末には60周年を迎えます。記念式典として、「男女共同参画宣言都市奨励事業」を提案します。

少子超高齢化がますます進む社会にあつて、仕事と家庭の両立支援、仕事と介護の両立支援が欠かせず、その前提となる男女共同参画社会の推進は喫緊の課題です。

町の輝ける未来のため、記念事業を推進すべきと考えますが、町長の考えを伺います。

**60周年記念事業は  
平成26年度に実施予定**

**答**

町長 芳賀町は、平成26年3月に町制施行60周年を迎えます。節目となる年を迎えるにあたり、今までの町の歩みを検証するとともに、さらなる地方自治と地域振興に取り組んでいくことを目的として、記念事業を実施する予定です。

現時点では、記念式典の挙行、町政功労者の表彰、記念誌作成、芳賀チャンネルを活用した記念番組、既存のイベント等に60周

年の冠をつけた事業などを予定しています。男女共同参画社会づくりの事業も実施事業に盛り込んで内容を充実したいと考えています。



芳賀町誕生記念祝賀式典

**ファミリーサポートセンター  
今後の事業展開は**

**問**

ファミリーサポートセンター事業は、育児の援助を希望する人と育児の援助をしたい人が互いに会員になって、育児に関し相互に援助し合う活動に関する連絡、調整を行うものです。

国では、平成17年度から次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画の着実な推進を図るため、次世代育成支援対策交付金が創設され、ファミリーサポートセンター事業は、同交付金の対象事業です。さらに、平成21年度から病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の緊急時の預かりなどの事業を行っています。

町でも、本年の重点施策として「子育て支援の充実」を掲げ、ファミリーサポートセンターや病児・病後児等の検討をすることになっています。どのような検討がされ、それを受けて今後の事業展開をどうしていくのか伺います。

**新たな子育て支援策として  
25年度中の実施に向けて検討**

**答**

教育長 病児・病後児保育事業につきましても、病後児についてのみ、平成25年度から祖母井保育園で預かることを検討しています。

ファミリーサポートセンター事業につきましても、この事業に対するニーズ把握のため、子育て中の保護者50人を対象にアンケートを実施いたしました。回答者24人のうち、設置希望者が21人で割合は90・9%、回答率47・3%で、対象者全体での設置希望率は42・9%となりましたが、子育て中の保護者のニーズはあると考えています。近隣の真岡市や高根沢町の先進事例を調査しながら、さらに具体的に内容を詰めていき、新たな子育て支援策の一つとして平成25年度中の実施に向けて検討を進めていきます。

# 道の駅はがのリニューアル計画は凍結すべき

町 道の駅はがのリニューアル計画とLRT導入は切り離して進める



小林 一男 議員

**問** 教育長が喫緊の課題とされている子ども達の体力向上の具体策と学童スポーツへの参加者数の減少についての考えを伺います。

**答** 仮称体力向上推進事業実行委員会の設置や総合型地域スポーツクラブの設立を検討中

**問** 教育長 野球やバレーボールなどクラブ活動への参加率が低下傾向にあることも体力低下に関連していると考えます。しかし、子ども達本人の意向とともに保護者の考えが大きく影響しています。加入を強制するものでない以上、子ども達や保護者の間での積極的な勧誘を期待します。他の方策として、仮称体力向上推進事業実行委員会の設置や総合型地域スポーツクラブの設立を検討しています。

**問** こども育成課長 校長会等で協議していきたくと思っています。

**答** 総合型スポーツクラブの設立にあたって、現在20人のスポーツ推進委員では負担が重すぎるのではないかと伺います。

**問** 生涯学習課長 現在20名のスポーツ推進委員の方には目いっぱい活動していただいているので、増員が必要と考えています。平成25年度の予算に、スポーツ推進委員の増員分を要求していきたく考えています。

**問** 体力向上の見地から子どもたちがもっと歩くようにすべきと考えるが、スクールバス乗車区分の見直しについて伺います。

**答** 教育長 現在の乗車区分は、保護者の強い要望を受けて、平成18年に見直ししたものです。体力低下を懸念し、学校手前で降ろしてある程度の距離を歩かせる案もあったようですが、いずれにせよ、体力向上の観点から歩くことは重要と考えます。通学時の安全対策にも

配慮しながら慎重に検討させていただきます。

**問** いじめを早期に発見するために、先生方本来の教育や見守りなどに専念して頂けるよう、担わせている調査や提出書類の作成業務を精査し減らしていくことは考えられないか伺います。

**答** こども育成課長 教育委員会の資料は、かなり多いものがあります。それだけが原因で、先生方の多忙感があるのかどうか検証していませんが、書類の内容を確認し、必要性の有無を検討していきます。

**問** 芳賀町はALT(外国語指導助手)や学習指導助手を付け教育に手厚い町です。特にALTは外国から招いているので、ネイティブな英語に毎日より多く子ども達が接することができるよう校内放送の利用などは考えられないか伺います。

**答** こども育成課長 北小ハートフルデーでは授業参観もあり、ALTと子ども達は何の抵抗もなく会話している姿

を見てきました。英語に触れあう時間が長いことが英語力の向上に繋がると思っています。カリキュラムも勘案し、英語に密接な時間が取れるよう各学校と協議していきます。

LRTと道の駅はがのについて

**問** 現在道の駅はがのRリニューアル計画が進められています。LRTを視野に入れたパークアンドライドの拠点として、再検討することを伺います。

道の駅はがRリニューアル計画とLRT導入は切り離して進める

**答** 町長 宇都宮市長の言う5〜6年でLRT整備とは15kmの部分であり、全線供用には時間を要します。テクノポリスセンター地区から東に延伸されるとしても時間的に想定できないことから、道の駅はがRリニューアル計画とLRT導入は切り離して進めるべきと考えます。



水沼 孝夫 議員

# 教育問題について

## 町 校長会等で徹底を図ります

**問** 5月21日全国各地で見事な金環日食を見ることができました。町内の学校では観察会を行った学校、そうでない学校と対応がばらばらでした。このような貴重な機会は、児童・生徒の自然や科学への関心を深める好機であり、173年ぶりとなる「世紀の天文ショー」を絶好の教育機会と捉え、登校時間を変更するなどして、安全に全員が観察できるように対策を講じることが出来なかったのか、また今後こういった大イベント（教育・科学・文化等）に際しどう対処していくのか伺います。

**答** 教育長 結果的に各学校の実情によって対応が異なっていました。今後さらに校長会等で徹底を図っていきます。一生の中でもなかなか体験できないようなことであれば、全部の児童生徒に体験できるように態勢を配慮して行きます。

### 校長会等で徹底を図ります

**問** 大津事件以来いじめ問題が大変な問題となっているが、併せて教育委員会のあり方

が問題視されています。教育委員会が行った生徒たちへのアンケート結果をもみ消すなど、いじめ等を無いものにしてしまおうとする著しい当事者能力の欠如を感じさせました。本町の教育行政を省みて、いじめ問題及び教育委員会のあり方について、形骸化していないか、教育委員会の再生という観点から考えを伺います。

**答** 教育委員長 教育委員会の活動は毎年、外部評価委員の評価を受け、議会にも報告しています。形骸化の問題は全国的にも指摘され、当委員会でも数年前から話し合っています。地域社会への情報を流れやすくし、不信感の払拭に努める、問題が拡大する前に対処する、教育長の負担を軽減する、教育行政と町行政の連携を強化し、広範な内容に対処できるような組織づくりを目指します。

**問** 大阪市の橋下市長ではな

いが、「いざ」という時に役に立たない組織であれば廃止したほうがよい。」との声もあります。私は政治的な中立性を確保するうえでも、独立した教育委

員会は必要だと考えます。そこで、岐阜県の可児市に倣って、生涯学習分野を町長部局に移管し学校教育関係に特化する。そして、教育委員を一名増員し、いじめ問題やメンタルヘルスケアに精通した識者を参画させ、再生を図るのはいかがでしょうか伺います。

**答** 町長 これから内容をよく検討し、教育委員増についても内部でよく相談して、必要があれば増員してもいいと考えます。



173年ぶりの金環日食

### LRT問題について

**問** 芳賀、市貝、茂木3町で宇都宮市長に対し、3町と県都宇都宮市を結ぶ公共交通機関が十分に確保されていないとして、「LRT整備に対する要望書」を提出されました。本町

としても地域活性化及び少子高齢化、人口減少対策の起爆剤として、大変有効な公共交通機関だと考えます。つきましては、担当窓口をつくり、テクノポリスセンターより祖母井まで延伸するとともに、トランジットセンターや車両基地の誘致を県及び宇都宮市に対して進めて行ってはいかがかと伺います。

### LRT実現に向け努力したい

**答** 町長 財源、許認可、技術的なものや採算面も検証していく必要があります。宇都宮市が今後推進委員会を立ち上げると聞いています。連携を強化し、上下分離方式や民間の出資を募るといった事が考えられるが、芳賀町でも魅力度アップするために、ぜひともLRTを実現に向けて努力していきます。



整備されたLRT(富山市)

# LRTについて

## 町 LRT導入に向けた検討を進めていきます



小林 俊夫 議員

**問** LRT導入に対し、芳賀町、市貝町、茂木町3町の首長によるLRT整備に対する要望書を宇都宮市長に手渡ししました。町長のLRTに対する思いを伺います。

**LRT導入に向けた検討を本格的に進めていきます**

**答** 町長 宇都宮市が東西基幹公共交通として導入を検討しているLRTについては、本町としても共通の課題であり、町内への導入に向けた検討を進めていくべきと考えています。

宇都宮市の資料によると、想定ルートの桜通り十字路口付近から宇都宮テクノポリスセンター地区までの約15kmで、車両の購入及び概算事業費は約383億円と見込んでいます。国により支援制度が拡充されたことや県の支援の可能性もあり、市負担は整備費の4分の1の100億円弱と見込んでいます。LRTを導入する際には、公共が施設を整備し、交通事業者など民間が運行を行う公設型上下分離方式が大変有効であるようです。宇都宮市もこの方式の採用を想定しています。民間に運営

を任せた場合市が想定している1日当たり4万4,900人の利用者数であれば収入は黒字となるが、想定より3割減の3万1,430人だと運行本数を減らさなければならぬようです。多額の初期投資と運用面での採算性について、宇都宮市の中で一部問題視されています。本町としては、今後宇都宮市を中心にLRTの検討組織が設立されましたら、関係機関と連携強化を図りながら具体的な調査・検討を進めていきます。その際、走行路面や電気、信号、停留場の整備に1km当たり10億円程度要すると言われている初期投資の内容検討や、将来にわたって大きな負担となる恐れのある運用面での採算性についても、需要予測や運営方法などを十分に精査しなければなりません。そして、その状況を町民の皆さんに説明し、意向を伺いながら慎重に取り組んで行きます。

本町のLRTの導入については、これから本格的に検討が開始されるわけです。

**児童・生徒と高校教育の違いについて**

**問** 教育長の経歴は高校教育が多いようですが、児童・生徒と高等学校教育の違いについて考えを伺います。

**活力に満ちた個性豊かな創造性に富む人づくりは同じ**

**答** 教育長 義務教育と高校教育ということをもって教育理念の違いはありません。すなわち、小学校においては、心身の発達に応じて普通教育のうち、基礎的なものを施すことを目的とし、中学校においては、小学校の基礎の上に心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とします。さらに、高等学校は、中学校における教育の上に心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的としています。どちらの教育についても、社会の変化に適切に対応しつつ、活力に満ちた個性豊かで創造性に富む人づくりを進めていくことは同じです。

**問** 今までの教育指針、理念に基づいて、どのように町の小学校・中学校の教育関係を発展させるのかプラスアルファの部分をお伺いします。

**答** 教育長 歴代の教育長が立派に確立されたものを継承しながら、現場を芳賀町をもっとくまなく歩いてみたいのです。それで子ども達がどういう状況なのか、小さなお子さん、ご高齢の方々がどのような思いを持っているのかを知り、自分の掲げた基本理念、行事などそういったものを織り込んで、それをいろいろな形で具現化していきたいと考えています。



# 芳賀町議会

# 活動報告

## 自治会長との懇談会を開催

芳賀町議会（会長 見目匡議員）では、町政全般について調査研究活動を行っています。去る12月10日に、道の駅はが会議室において、町自治会長との懇談会を開催しました。

主な内容は

- ①議会改革の進捗について
- ②議会におけるLRTの推進について
- ③その他

熱心に活発な意見の交換が行われ、有意義な懇談会となりました。



道の駅はが会議室にて

## 芳賀北部広域行政推進協議会を開催

去る1月17日に芳賀北部広域行政推進協議会が茨城県大洗町で開催されました。今回の協議会では、平成24年度事業経過報告、平成25年度事業計画及び収支予算が承認されました。

また、芳賀北部4町で連携のできる事務事業について、活発な意見の交換が行われました。



茨城県大洗町にて

## 議会改革検討委員会 レポート

議会改革検討委員会は、町民にわかりやすく、より開かれた町議会を目指して、議会改革の取組を推進する活動をしています。

第7回委員会（11月26日開催）では、「議員定数について」を協議し、削減すべきとの委員全員の意見を確認しました。その後12月6日に開催された議員全員協議会で杉田貞一郎委員長より協議結果を報告し、議員定数について及び、改革の一環として9月定例会から実施した各常任委員会書類審査の傍聴等について、各議員の意見を徴取しました。





### 食育にもっと男性の参加を！



小林長武さん  
(下高根沢)

先日、6歳の息子と「おやこの食育教室」に参加しました。食生活改善推進員の先生のお話を聴き、楽しい料理体験をしました。この事業は、平成22年に策定された「芳賀町食育推進計画」に基づくもので、「家族とのふれあいを通して、バランスの良い食生活や食事のマナーなど適切な食習慣を身につける」ための事業です。私は仕事で食育を担当していますが、料理教室や講話など食育関係のイベントには、女性の参加者がほとんどで男性の姿はあまり見かけま

せん。残念ながら「おやこの食育教室」での男性の参加者は、私一人でした。

食事をするという事は、生きることの基本的なことで男性でも女性でも同じだと思います。食育を推進していくためには、より多くの人々の参加が必要です。町民一人ひとりが食について関心を持ち、「食の大切さを知る」ことにより食の環境づくりを進め、生涯健康的で心豊かに生活できる人を育てるため、より多くの男性の参加が必要なのではないでしょうか。

### 消防団に入って

私は、消防団に入って9年目。現在、第3分団第4部の部長を務めさせて頂いています。私を含め、団員15名とともに芳賀町の安心・安全のために日々がんばっています。

消防団として火災現場でスムーズに放水できるように、月2回程放水点検を行っています。それでも、現場ではうまくいかないことがあり苦労しています。

一昨年は、東日本大震災が発生しました。この時、私たち消防団も出動し、皆

仕事があるにもかかわらず、数日間の巡回や、がれきの撤去、危険場所の確認等を行いました。

大変な事が多いと思われる消防団ですが、入団して良かったと思うことがあります。多くの仲間に出会い、そして知り合いがたくさんできたことです。彼らとの出会いがあったからこそ、今、私は消防団を続けてこれたのだと思います。



水沼英一さん  
(東高橋)

### 協力すれば出来る



高橋正紀さん  
(稲毛田)

私の住んでいるみどり町には、二つの問題がありました。雑排水と道路です。雑排水は、流す水路がありませんでした。浸透させるため、大きな穴を掘って土手を造っても、数年で雑排水は溢れ臭いがして周りの方に迷惑を掛けました。道路は、100軒近くの人たちが暮らしているのに、公道に出るのは西側と北側の2カ所しかなくとても不便でした。

そこで、代表者と行政が話し合いをし、問題を解決しました。雑排水については、500m以上の配管を通し、市貝町の水路に流すよう

に話がつきました。道路については、南側にあった狭い道を地主さんと話し合い広くして、コンクリート道路にする資材と材料は行政が準備し、作業は住民が行うことにしました。幸いに住民の中に専門の人がいたので作業はスムーズに実施できました。

このように住民のやる気と行政の協力があれば、大きな難題もクリアできるものだと感じました。

最後に、少しでも早く下水道の整備をお願いしたいと思います。

# 議会日誌

平成24年

11月

- 1日・県議長会（宇都宮市）
- 2日・教育民生常任委員会  
・広報常任委員会  
・都市町議会議員自治研修会（茂木町）
- 4日・町民祭
- 13日・国保運営協議会長会研修（～14日）（那須町）
- 14日・町村議会議長会全国大会（東京都）
- 16日・教育民生常任委員と教育委員の意見交換会
- 19日・産業建設常任委員会  
・総務常任委員会
- 20日・芳賀北部広域行政推進協議会要望活動（宇都宮市）
- 22日・議員全員協議会  
・都市町議長会定例会（真岡市）
- 26日・議会運営委員会  
・議会改革検討委員会
- 27日・農業振興対策推進協議会

12月

- 4日・議員全員協議会  
・第4回芳賀町議会定例会（～7日）
- 6日・議員全員協議会
- 7日・広報常任委員会
- 10日・自治会長との懇談会
- 15日・社会福祉協議会福祉まつり
- 25日・芳賀地区広域行政事務組合議会定例会（真岡市）

平成25年1月

- 8日・第1回芳賀町議会臨時会  
・議員全員協議会  
・町賀詞交歓会

副委員長 北條 勲記

（議会広報常任委員会）  
待します。  
なスポーツ選手が育つことを期  
ています。今後も先輩達の方  
力向上を推進することを目指し  
ています。見目教育長は、児童生徒の体  
手も活躍しています。  
手、佐藤選手、ボクシングの柳選  
手、佐藤選手、ボクシングの柳選  
手も活躍しています。  
ます。  
社会人では、駅伝の阿久津選  
手、佐藤選手、ボクシングの柳選  
手も活躍しています。

他にも有望な選手は、高校生  
では女子駅伝、野球、ソフトテニ  
ス、バレーボールで活躍してい  
ます。

赤穂選手の東洋太平洋王者  
チャンピオンベルトには、TO  
CHIGI・HAGAとありま  
す。故郷を思う気持ちが伝わり  
ます。

た。  
初挑戦は失敗に終わり残念でし  
るかのケンカ戦法が見られず、  
シングスタイルの倒すか倒され  
にも行きましたが、本来のボク  
イトルマッチの赤穂選手の応援  
WBC世界スーパーフライ級タ  
大晦日に行われたボクシング  
屋と11月・横浜に行きました。

ツ大会の応援では、ママさんラ  
ンナーの赤羽選手の3月・名古屋  
屋と11月・横浜に行きました。

## 編集室

## 議会だよりの表紙写真を募集！

芳賀町の「議会だより」は、年4回と随時に臨時号を発行し、町内各戸や関係機関へ配布しております。

皆さまに、議会がより親しまれる身近なものとなるよう「議会だより」の表紙を飾る写真を募集いたします。

テーマ「元気な芳賀町」（人物・風景等は問いません。）

応募上の注意

- ・応募者は町民に限ります。
- ・プリント（L版以上）またはデジタルデータ
- ・編集の都合上、作品のトリミングを行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影者自身に著作権のある未発表、未公開の作品
- ・被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得て応募してください。
- ・応募の際は、住所、氏名、電話番号のほか、撮影場所、作品のタイトルを明記してください。



審査方法

芳賀町議会広報常任委員会にて審査します。

応募締め切り 平成25年4月末

応募先 芳賀町議会事務局

その他

採用者には粗品を進呈します。

次号は5月発行予定です。



芳賀チャンネルも見てね!!

〈次回の定例会開催予定日は3月4日（月）です〉

みんなで議회를傍聴しましょう

※議会定例会をその日の20:00～と再放送を翌日8:00～に放映